【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-252644(P2012-252644A)
【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)
【年通号数】公開・登録公報2012-054
【出願番号】特願2011-126502(P2011-126502)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/117　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　５１０Ｂ
Ａ６１Ｂ　5/10　３２０Ｃ
Ａ６１Ｂ　5/10　３２０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月5日(2014.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
指の生体パターンを撮像する撮像部と、
演算部と、を備え、
前記演算部は、
前記撮像部を用いて識別対象者の指の生体パターンを撮像して得られる画像から、前記識別対象者の特徴量を複数抽出し、
所定の登録部に指の種類を表す指ＩＤに対応付けて登録されている登録対象者の生体パターンを特徴付ける特徴量と、前記識別対象者の特徴量とが類似するか否かを判断し、
前記識別対象者の特徴量と類似すると判断された前記登録対象者の特徴量に対応付けられた指ＩＤに応じて、前記識別対象者の指毎のスコアを算出し、
前記識別対象者の隣り合う複数の指のスコアの組み合わせに基づいて、前記識別対象者が前記登録対象者であるか否かを識別する、
生体識別装置。
【請求項２】
請求項１に記載の生体識別装置であって、
前記撮像部は、前記識別対象者の１本の指の生体パターンの少なくとも一部と、前記１本の指に隣り合う指の生体パターンの少なくとも一部とを撮像することを特徴とする、生体識別装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載の生体識別装置であって、
前記演算部は、
前記識別対象者の隣り合う複数の指のスコアの合計値を算出し、
前記スコアの合計値のうち最大の値が所定の閾値よりも大きい場合に、前記識別対象者が前記登録対象者であると識別することを特徴とする、生体識別装置。
【請求項４】

請求項１～３のいずれかに記載の生体識別装置であって、
前記演算部は、
前記撮像部を用いて登録対象者の指の生体パターンを撮像して得られる画像から、前記登録対象者の特徴量を抽出し、
前記登録対象者の特徴量と前記登録対象者の指ＩＤとを対応付けて登録特徴量として前記登録部に登録することを特徴とする、生体識別装置。
【請求項５】
請求項４に記載の生体識別装置であって、
前記識別対象者の指の生体パターンよりも、
前記登録対象者の指の生体パターンの方が、前記撮像部によって撮像される領域が大きいことを特徴とする、生体識別装置。
【請求項６】
請求項１～５のいずれかに記載の生体識別装置であって、
前記特徴量が、ＳＩＦＴ（Scale Invariant Feature Transform）を用いて抽出されることを特徴とする、生体識別装置。
【請求項７】
識別対象者の指の生体パターンを撮像して得られる画像から、前記識別対象者の指の生体パターンを特徴付ける識別対象者の特徴量を複数抽出することと、
指の種類を表す指ＩＤに対応付けて登録されている登録対象者の特徴量と、前記識別対象者の特徴量とが類似するか否かを判断することと、
前記識別対象者の特徴量と類似すると判断された前記登録対象者の特徴量に対応付けられた指ＩＤに応じて、前記識別対象者の指毎のスコアを算出することと、
前記識別対象者の隣り合う複数の指のスコアの組み合わせに基づいて前記識別対象者が前記登録対象者であるか否かを識別することと、
を有する生体識別方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するための主たる発明は、指の生体パターンを撮像する撮像部と、演算部と、を備え、前記演算部は、前記撮像部を用いて識別対象者の指の生体パターンを撮像して得られる画像から、前記識別対象者の特徴量を複数抽出し、所定の登録部に指の種類を表す指ＩＤに対応付けて登録されている登録対象者の生体パターンを特徴付ける特徴量と、前記識別対象者の特徴量とが類似するか否かを判断し、前記識別対象者の特徴量と類似すると判断された前記登録対象者の特徴量に対応付けられた指ＩＤに応じて、前記識別対象者の指毎のスコアを算出し、前記識別対象者の隣り合う複数の指のスコアの組み合わせに基づいて、前記識別対象者が前記登録対象者であるか否かを識別する、生体識別装置である。